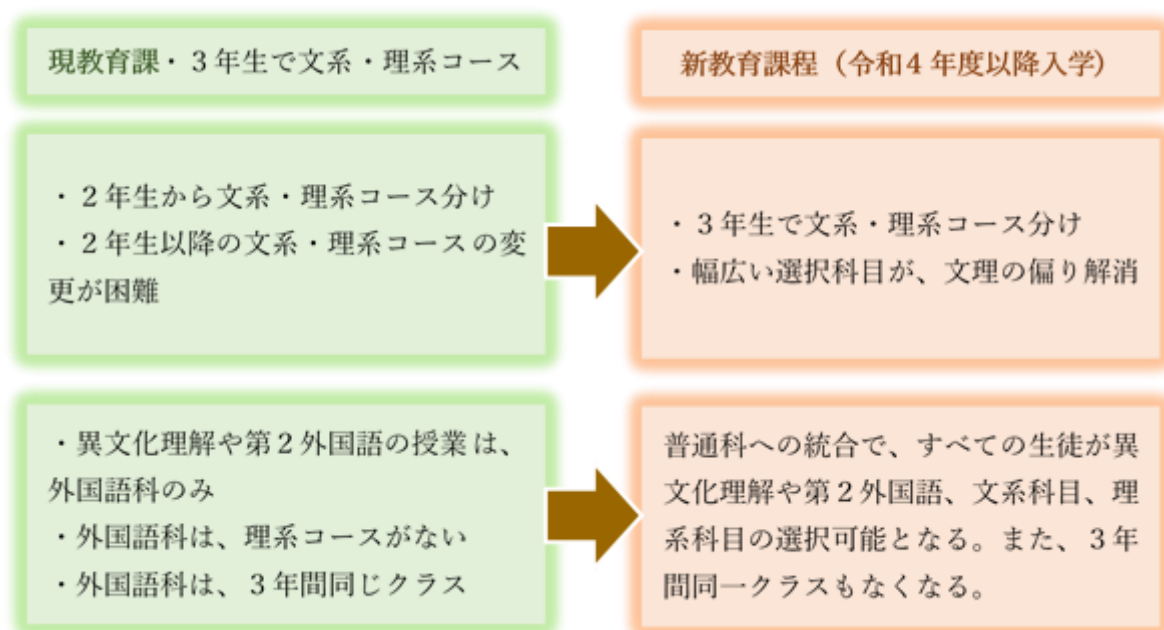


不動岡 5.0 に向けて②

1、現行のカリキュラムの課題

令和4年度に新カリキュラムがスタートしますが、「具体的に何がどう変わるの？」と疑問を抱くかと思います。学科再編に伴い外国語科と統合した「普通科」として、不動岡高校のカリキュラムがどのように変わるのか、いくつかのポイントに絞ってご説明します。



現行のカリキュラムでは、「普通科」と「外国語科」というように学科が分かれてしまっているため、それをまたがってカリキュラムを組むことができません。また、早い時期に「文理選択」を行うことで、かえってその後の進路変更が困難になっていました。その結果、各分野のスペシャリストの育成に重点を置くことはできましたが、生徒自身の視野を広げることや自分の可能性を考えさせるという点に課題が残りました。

2、新カリキュラムで可能になること

—スペシャリストから幅広い教養ある人へ—

上記の課題を克服するため、新カリキュラムでは3年生の時間割に多様な選択科目を用意し、皆さん自身の進路や興味関心に応じて幅広く学んでもらいます。「Society5.0」の時代を生きる皆さんには、新カリキュラム「不動岡5.0」を通してそれぞれの可能性・視野を広げ、新しい時代の流れに乗るだけでなく、その中で周囲の人を牽引できるリーダーとなって活躍する人へと成長してもらいたいと考えております。

**そのためにも、不動岡独自の「リベラルアーツ」教育の
実践に力を入れていきます。**

3、「リベラルアーツ」教育の実践

不動岡高校の「外国語科」は平成2年に設置されました。設置当初に求められていた「グローバル人材」と、今日求められている「グローバル人材」は同じものでしょうか？

グローバル社会を生きていくうえで、英語を話すことは「目的」ではなく、コミュニケーションのための「手段」です。これから、どのように社会が変動していくか予想のつかない時代を生きていくときに、求められるものはなんのでしょうか？

不動岡高校では、従来通り「圧倒的な知識」を身につけることも重視します。

それだけでなく、一見無関係に思われる物事のつながりや因果関係にも目を向けられるよう、「様々な見方・考え方」を身につけることも大切にしていきます。

その考え方を身につけるためにも、普通教科の学習だけでなく探究活動や教科横断型授業を通して「リベラルアーツ(教養)」教育が実践できるよう、これからも新カリキュラムの拡充を進めていきます。